

## アプリケーションカタログ オリーブ油の全酸価

関連業界	:	油脂
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	酸塩基滴定（非水）
関連規格	:	JIS K 2501, ASTM D 664, ISO 6619

### 1. 概要

石油製品及び潤滑油の全酸価の測定は、「JIS K 2501-2003石油製品及び潤滑油-中和価試験方法」などに基づいて、電位差滴定法により0.1mol/L水酸化カリウム標準2-プロパノール溶液で滴定し、滴定曲線上の変曲点を終点とします。

水酸化カリウム標準2-プロパノール溶液の終点までの滴定量から、石油製品及び潤滑油の全酸価を算出します。

試料は、通常トルエン、2-プロパノール及び少量の水の混合溶剤に溶かします。この混合溶剤に溶ける石油製品及び潤滑油中の酸性成分には、有機酸、無機酸、エステル、フェノール化合物、ラクトン、レジン、重金属塩、アンモニア塩及びほかの弱酸成分、多塩基酸の酸塩などがあります。

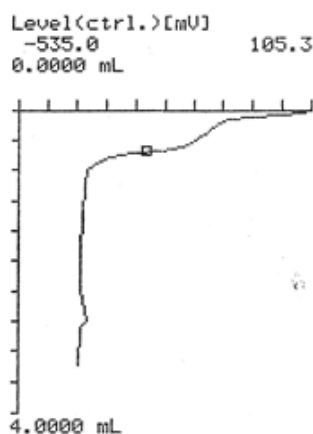
### 2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置（標準プリアンプリファイア STD-1）
電極	:	ガラス電極、ダブルジャンクション形比較電極（非水滴定用）、温度補償電極

### 3. 試薬

滴定液	:	0.1mol/L 水酸化カリウム・エタノール溶液（f=0.9999）
溶媒	:	2-プロパノール

### 4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	Sample (g)	Titration (mL)	Total acid (g/100g)
1	10.0032	0.5253	0.24913
2	10.0203	0.5286	0.25056
3	10.0146	0.5158	0.24353
4	10.0220	0.5329	0.25292
5	10.0078	0.5230	0.24773
Average			0.24877
S.D.			0.00350
R.S.D.			1.41

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>